

第4回 兵庫県自転車活用推進計画策定協議会 議事要旨

1. 日時 令和2年2月17日(月) 15時00分～17時00分
2. 場所 ラッセホール 5F サンフラワー
3. 出席者 黒河内委員、梶尾委員、藤本委員、古田委員、山中会長
4. 議事

- ①第3回協議会意見と対応について
- ②パブリックコメント結果について

5. 委員からの主な意見

<資料1：第3回協議会意見における主な意見への対応 事務局より説明>

- ・図3-13, 14を見ると自転車関連事故のうち第一当事者が自転車以外の割合が約66%となるが、図3-16では自転車関連事故のうち自転車の違反割合が高くなっている。これは、第一当事者となっていない自転車の違反が多いということか。
- ・P6のデンマーク式自転車教室の写真は京都市の写真である。尼崎北小学校の写真を載せた方が良い。
- ・図3-14で第一当事者は若年層が多いが、事故全体ではもっと多いかもしれない。
- ・自転車関連事故データを年齢層別に見ると、事故件数は高齢者が多く、違反は若い人が多いのかもしれない。自転車関連事故の自転車の違反割合は、第一・第二当事者に関係なく何らかの法令違反があるということでは、全体はこうだがこの部分はこのような人が多いという説明を付ければ分かりやすいと思う。
- ・事故は若年層が多く、重大事故は高齢者に多いという説明が分かりやすいと思う。
- ・P18の写真は双方向の自転車道ではなく自転車専用レーンの写真が良い。
- ・P33の体系図は現在の取り組みなので、今後の目標と誤解されない場所に掲載するのが良い。また、文書の中で県が実施する取り組みを分かりやすく表現したほうが良い。
- ・施策6の①の実施工程が全て「実施」となっているため、今の取り組みを継続するように感じる。ここに「検討」を入れることも考えられる。
- ・P19に「長期滞在も含めた」と書いてあるが、日帰り等の短期も「滞在」であるので、「～県内各地で滞在型サイクルツーリズムを享受できるようになることで、交流人口の～」としてはどうか。
- ・P41に関して、海外からのサイクリストにも配慮すると統一デザインのサインが重要だと思う。そのため、取り組み内容の文章は、「地域の実情に合わせつつも、国内外の人々が安全・快適に走行できる環境整備を推進する」としてはどうか。
- ・P45に関して、「確保する」という表現は分かりにくいので、「～を推進する」という書き方のほうが良い。
- ・P46に関して、情報発信は重要だが、確実に受け手に伝わるようなプロモーションが大事である。
- ・プロモーションに関しては、官民連携や他地域との連携の視点が重要である。
- ・安全教育に関しては、イベントやスポーツとの連携が重要であるため、関係機関の中に自転車関連事業者や団体を明示してほしい。

<資料2-1：パブリックコメントに提出された意見等の概要とこれに対する考え方(概要) (案)>

資料2-2：パブリックコメントに提出された意見等の概要とこれに対する考え方 (案)

事務局より説明>

- ・トイレは全て県で整備する必要はなく、コンビニなど民間施設の協力を得て確保していくということで、売り上げにもつながるのでよいと思う。
- ・野外のレジャーを楽しむ女性にとって清潔なトイレは大切な要素、愛好家だけではなく、女性と子供が安心して楽しめないとする野は広がらない。
- ・「普通自転車専用通行帯」もあるため、タンDEM自転車が通行可能か確認しておいたほうが良い。
- ・登山道を自転車で行くことの検討については、近年マウンテンバイクも増加しているため、別事業での整備に合わせてマウンテンバイク専用コースを確保することも考えられる。また、民有地に整備する場合、整備は関係団体が行うため、行政は許可を出すだけでよい。

<今後の進め方について 事務局より説明>

- ・定期的な会議より、随時、個別に悩みを相談してもらったり、指導してもらうほうが良い。
- ・本日の意見対応については会長一任とする。

<その他>

- ・概要版だけしか見ない人もいるため、表現には注意したほうが良い。
- ・表紙の絵はマウンテンバイクだけでなく、ロードバイクなども入れたほうが良い。

以上